

2019（令和元）年度 第2～4回 手話通訳士現任研修（遠隔地研修）

開催要項

<厚生労働省委託事業>

1. 目的

手話通訳士に対し、司法や高等教育機関等の専門分野で求められている知識と技術について研鑽する機会を設けることにより、あらゆる場面で的確な手話通訳ができるよう資質の向上を図ることで、手話通訳者の更なる社会参加に寄与することを目的とする。

2. 実施主体

社会福祉法人 全国手話研修センター

3. 研修

実技研修は2日間の集合研修とし、講義研修はインターネットを活用し自宅等で学習していただきます。

●テーマ 「人権と医療」

●時間（集合研修2日間）

1日目 12:45～13:15 受付・オリエンテーション

13:15～17:30 研修

2日目 9:30～14:30 研修

14:45～15:00 閉講式

上記時間の研修には、実技（2時間×4コマ）が入ります。

●カリキュラム

【講義研修】（遠隔地研修による講義視聴）

医療制度、通訳倫理、ろう者の医療権、薬に関する基礎知識、インフォームドコンセント

【実技研修】（集合研修）

医療現場に必要な通訳実技

●自宅研修（レポート課題）

裏面参照

※カリキュラム内容および研修時間は都合により変更となる場合があります。講師等の詳細は決定通知でお知らせいたします。また、研修センターのホームページでも随時お知らせして参ります。

4. 開催日時・会場

第2回	日程	2019年10月26日（土）～27日（日）
	会場	東京都 リフレッシュ氷川（予定） 〒150-0011 東京都渋谷区東1丁目26-23
第3回	日程	2019年11月16日（土）～17日（日）
	会場	栃木県総合文化センター 〒320-8530 栃木県宇都宮市本町1-8

第4回	日程	2019年1月18日(土)～19日(日)
	会場	福岡県 クローバープラザ(予定) 〒816-0804 福岡県春日市原町3丁目1

※上記の他に1日、自宅研修(レポート課題)がカリキュラムに含まれます。

※会場は都合により変更になる場合があります。必ず受講決定通知にてご確認ください。

5. 定員

30名

6. 研修費用

6,000円(実技3,000円+講義3,000円)

※現地までの交通機関、宿泊は各自にてお早めにご手配していただきますようお願いいたします。

※講義研修は遠隔地(在宅)研修となります。

7. お支払方法

郵便振替(申込翌月10日までに支払)

※お申込み後に専用の受講料振込み用紙を送付いたします。

8. 対象者

手話通訳士の資格を有する方

9. 申込み条件

①遠隔地(在宅)研修による該当講義映像の視聴(2020年2月29日まで)と②実技研修の受講の両方が受講できること

10. 締切日

受講料のお支払を終えた方から、先着順とします。定員になり次第、締め切らせていただきます。

第2回	9月16日(月祝)
第3回	10月6日(日)
第4回	12月8日(日)

11. 申込方法

全国手話研修センターホームページ「現任研修(遠隔地研修)のご案内」から個人で直接お申込み下さい。受付はインターネットからのみとなります。

URL: <http://www.enkakukenshu-sagano.com>

QRコード



●お申込み手順が分からない方や視聴の不具合等は以下にお問い合わせください。

<障害者放送通信機構カスタマーセンター>

TEL: 06-4801-9730 FAX: 06-4801-9316(平日 10:00～17:00)

1 2. 受講決定

受講料のお支払いを確認後、随時、決定通知をお送りします。
併せて、講義資料もお送りします。

1 3. 受講修了条件

①2019年度手話通訳士現任研修の全講義映像視聴(2020年2月29日まで)と②実技研修の受講
※講義映像は8月中旬に専用のホームページにアップロード予定です。

1 4. 遠隔地(在宅)研修

講義研修は、インターネットを活用し自宅のパソコン等から講義を視聴する遠隔地(在宅)研修です。実技研修のみ、研修会場に集まって受講していただきます。

なお、今年度手話通訳士現任研修にお申し込みいただいた方につきましては、以下の講義を繰り返し自由な時間に視聴していただけます。(視聴期間は2020年3月31日まで)

<2019年度 視聴いただける研修>

申込研修	視聴いただける講義
2019年度 【手話通訳士現任研修】	2017年度～2019年度(3年分)の【手話通訳士現任研修】の講義

<過去の講義テーマ>

2017年度	児童デイサービスについて	渡邊 健二氏
	スクール・カウンセラー	内藤 稔氏
	人工内耳について	小中 栄一氏
	子どもの発達障害	門 眞一郎氏
	言語条例と学校教育	金澤 貴之氏
2018年度	人権を守る 淡路ふくろうの郷から	大矢 暹氏
	ろう者の人権と医療	若林 亮氏
	刑事裁判と手話通訳のあり方	渡辺 颯修氏
	司法面接(共同面接)	上宮 愛氏
	法廷手話通訳の今後の課題	小野寺 雅之氏

1 5. お問い合わせ

【研修内容について】

社会福祉法人全国手話研修センター人材養成課
〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4
ホームページ (<http://www.com-sagano.com/>)



TEL : 075-873-2646 / FAX : 075-873-2647 / E-mail : jinzai2@com-sagano.com

【申込み・視聴方法について】

障害者放送通信機構カスタマーセンター

TEL : 06-4801-9730 FAX : 06-4801-9316(平日 10:00～17:00)

<2019 年度自宅学習内容>

様式は問いません。ページ番号と、すべてのページにレポート作成者の名前を記載すること。課題は印刷し、研修当日にお持ちください。なお、レポートは、研修会でレポート発表・集団討議に活用します。

<課題>

次の図は、「専門職としての手話通訳者教育」を構造化したものです。1 階は、一般常識、諸科学の基礎的な知識、2 階は、手話通訳の専門知識・専門技術、3 階は、手話通訳者の倫理となっています。医療における手話通訳に求められる「力」を各階ごとに考察し1200字程度でまとめてください。

図4-1 手話通訳者教育の理論的枠組み

(手話を学ぶ人の「手話通訳学」入門 改訂版 林智樹著 クリエイツかもがわ P89 より)

